安井議員（自民議連）

平成 28 年２月 22 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）候補地選定の進め方について

先般，教育委員会会議において，学校の「基本構想」が決定されたが，「候補地の選定基準」として，１点目に，「学校設置について地域の賛同が得られ，生徒に対する住民等からの支援が見込まれること」，２点目に，「質の高いプロジェクト学習を実施するために有用な資源，すなわち，学習素材や連携機関などを，地域に有していること」，３点目に，「自然豊かな学習環境であり，敷地面積が概ね５万平米以上であること」，４点目に，「大規模な土地の造成など，過大な追加のコストが必要ないこと」という，４つの基準が示されている。

設置基準は示されたが，これから行われる設置場所の選定手続きについても，県民に分かりやすく，透明性の高い方法により，進められなければならない。

そこで，既に誘致に向けた具体的な提案もある中で，設置場所については，いつ頃，どうやって決めようとしているのか，教育長に伺う。

（答）

グローバルリーダー育成校は，「全寮制」の学校であり，教育活動の面のみならず，子供たちの生活を考えていく上でも，設置場所は極めて重要な要素であると考えております。

とりわけ，親元を離れた環境の中で，地域から子供たちが孤立するようなことは絶対にあってはならず，このような観点から，２月１２日の教育委員会会議にて決定をいたしました「基本構想」におきまして，４つの選定基準を設定したところであり，今後，これに基づき，設置を希望する市町からの御提案もお伺いしながら検討を行ってまいります。

今回の予算案におきましては，全国に先駆けてグローバルリーダー育成校を創設し，全県的な「学びの変革」の早期実現を図っていく観点から，場所決定後，速やかに設計に着手できるよう，設計費を計上しているところでございますが，設置場所の検討につきましては，期限ありきで考えるのではなく，丁寧な調査・検討を行ってまいりたいと考えており，その上で，最終的には，教育委員会会議におきまして教育的観点から十分に審議し決定してまいります。